



パスカポンプ初期運転方法

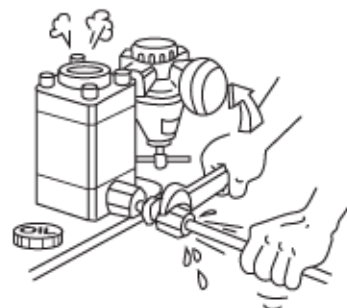
下記の手順で必ず油吸込部のエア抜きを行って下さい。エア抜きを行わなければ作動油が吐出されません。作動油が吐出されない状態で長時間ポンプを運転すると内部シールが磨耗し故障します。

■ ポンプ1台のエア抜きを行う場合

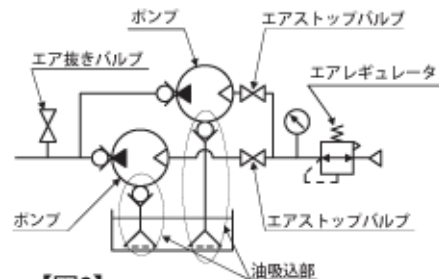
- (1) エアレギュレータを0MPaにセットしてください。
- (2) エアレギュレータの圧力を徐々に上げ、0.1~0.15MPaでポンプが動き出した時点でエア抜きバルブを1~2回転緩めてください。エア抜きバルブが設けられていない場合は、吐出側配管の途中で配管継手を緩めてください。
【図1】（注：0.1~0.15MPaでポンプが動かない場合は、動き出すまで圧力を上げた後、0.1~0.15MPaに下げてください。）
- (3) エア抜きバルブ（配管継手）を緩めて5~30秒で気泡が混入した作動油が出てきます。そのままポンプの運転を4~5秒続け、吐出油に気泡が無くなったことを確認した後、エア抜きバルブ（配管継手）を締めてください。
- (4) エア抜きが終了後、エア圧を正規に設定してポンプを運転してください。

■ 複数台のポンプのエア抜きを行う場合

- (5) ポンプが複数台ある場合、エア抜きは1台ずつ行ってください。エア抜きを行うポンプのエアストップバルブを開いて他のエアストップバルブは全て閉じて下さい。【図2】
- (6) (1)~(3)の作業を行いエア抜きが完了したらエアストップバルブを閉じ、次にエア抜きを行うポンプのエアストップバルブを開いて順次エア抜きを行ってください。
- (7) 全てのポンプのエア抜きが終了後、エア圧を正規に設定してポンプを運転してください。



【図1】



【図2】